



発行
一宮市児童育成連絡協議会

事務局

一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル4階
(一宮市社会福祉協議会内)

TEL 0586-85-7024

FAX 0586-85-7025

令和5年3月16日

ウェブサイト「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>

体育館で練習をしているときも、リハーサルや本番のときも、みんな本当に楽しそうでした。本番の退場のときには、なんだかみんな堂々としていて、練習した成果が出たとうれしくなりました。

少しきんちゃんも少しでしたが、無事に発表が終わって本当に良かったです。団結力も深まりました。

ぼくたちが発表したのは、「新聞ボールで玉入れ」という遊びです。まず、チームに分かれ、新聞を丸めてガムテープでとめた「新聞ボール」を作る競争をしました。その後、作ったボールを大人が持っている逆さまにしたかさへ入れ、制限時間内にかさに入った新聞ボールの数を競いました。

ぼくたちが発表したのは、「新聞ボールで玉入れ」という遊びです。まず、チームに分かれ、新聞を丸めてガムテープでとめた「新聞ボール」を作る競争をしました。その後、作ったボールを大人が持っている逆さまにしたかさへ入れ、制限時間内にかさに入った新聞ボールの数を競いました。

向山連区 南印田子ども会

六年 松野 景太

あそびの発表

新年子ども会大会



▲ 玉から作る「新聞玉入れ競争」

富士連区 白鳩子ども会

五年 池田 茜

り、大切な経験となりました。発表の間、最初から最後まで観客のみなさんが優しく見守って温かい手を送ってくれたことがとても印象に残りました。ありがとうございました。

葉栗連区 笹野子ども会

六年 岩田 昇馬

ぼくたち笹野子ども会は現在70名で活動しています。今回は六年生を中心に11名で遊びの発表を行いました。

私たちが白鳩子ども会は、会員数11人の仲の良い子ども会です。今回発表のためみんなで新聞で棒を作ったり、輪を作ったりしました。準備のだんかいかから楽しくできました。



▲ 「人間わなげ」ねらってー

表を行いました。さて突然ですが、問題です。一宮市のモーニングPRキャラクターの名前は、イチ・モニゾウである。○か×か。正解は×です。(名前はイチモです)ぼくたちは会場の方たちと一緒に参加して楽しめるように一宮市に関する○×クイズを発表しました。また、シンキングタイムには音楽に合わせておどりを、会場を盛り上げる工夫をしました。大勢の人たちの前で話したり、おどったりすることに最初は、はざかしや不安もありましたが、みんなと一緒だったので本番ではとても楽しく発表することができました。会場の方たちもおどりに合わせて手拍子をしてくれてうれしかったです。

コロナ禍で行事が減っている中、大きなふたいに立って発表する機会を頂けたおかげで、自信にもなりました。友だちとのきずなも深まりました。最高の思い出をありがとうございました。



▲ シンキングタイム！



※審査は中日新聞一宮総局に依頼しました。
審査員（敬称略）

中日新聞一宮総局長
中日新聞NIE事務局長
中日新聞NIEコーディネーター
渡部 圭
重村 敦
伊藤 彰敏

最優秀作品



木曽川町連区
東小路子ども会

木曽川町連区 東小路子ども会

六年 山田 尚輝

ぼくたち東小路子ども会は、「大雨のこわさを学ぼう」というテーマでかべ新聞を作りました。きっかけは、町内の方から今年の冬に手づくりしたハザードマップを見せてもらったことでした。ハザードマップにはぼくたちがよく通っている道にも危険な場所があると書いてあり、みんなで学んでみることにしました。子ども会の人みんなで集まって、町内の危険な場所を



西成連区 南小淵、水法、野口、
山王、大西、馬見塚子ども会

優秀作品



講評

見て回ることになりました。当日は土砂降りで、いつもは安全な場所でも大雨のときには危なくなることが、実際に見てわかりました。また、町内の方から、ひざ下まで水につかってしまいとてもこわかったという話や、大雨のときは小学校ににげようとする、のお川という大きな川があって危ないので、少しでも高い場所へ行くという話も聞きました。

「地域の防災」というテーマ性をもって作ったのが素晴らしいです。大雨が降ったときのハザードマップも目を引きます。自分たちの町について実際に歩いて確認し、自分たちの言葉で伝えていきます。町内の人に大雨の時の経験を聞いたことも説得力があります。この新聞を読んだ人が自分たちの連区の防災について考えるきっかけになるでしょう。



西成連区浅野校下 水法子とも会

六年 清水 夢

私たちの子ども会は、一年間の色々な行事について、壁新聞を作りました。コロナ禍で全員が集まってくる方法があるはずと思い、皆で話し合いをして学年や子ども会で分かれ、感染対策に気をつけてしました。歓迎会では、手作りのプレゼント渡しをして緊張しましたが、一年生との交流ができて良かったです。つつじ祭りは3年ぶりで、いちみんと触れ合いや舞台での出し物を友達と楽しめたことが何よりうれしかったです。

ラジオ体操は早起きで大変でしたが、早起きして体操すると一日がシャキッとしました。

芝馬祭りも2年ぶりで、友達と無形文化遺産の祭りに参加できてうれしかったです。

お宮掃除は、落葉が沢山でびっくり。でも友達との掃除は楽しかったです。

どの行事もコロナ前のように全員では無かったけれど、その中でもようやく友達と一緒に行事に参加したり、壁新聞を作ったりする事を楽しく思っているのがよかったです。

講評

子ども会の名前よりも地域の行事名を大きくした見出しがとても分かりやすく、レイアウトもきれいです。「歓迎会」や「かけっこ大会」など行事の楽しさが伝わり、内容もよく分かります。地域の行事について写真を交えて詳しく紹介することで、これから新しく子ども会に入ってくる子どもたちが胸を膨らませ、ワクワクするような希望を持つことができるでしょう。

優秀作品



北方町連区
白菊子ども会

北方町連区

白菊子ども会

六年

加藤

耕太

このコロナ禍で、なかなか集まらない中、みんなが壁新聞に参加するにはどうしたらよいかを始めて考えました。テーマは「北方町のよいところ」です。そこで、みんなの似顔絵と気持ちを気球に乗せることを思いつきました。事前に気球をパーツに切り分け、全員に配り、似顔絵と合わせてみんなにかいてもらいました。集まったパーツをパズルのように貼り合わせ、完成させていくのは難しかったし、ワクワクしました。特に心に残ったのは、みんなのこたえです。友達、近所の人のこと、みんな仲がよいこと、親切なこと。そういう身近な方々への思いがこもったこたえが多かったのです。ほっこり、うれしい気持ちになりました。ぼくたちの通う北方小学校は、今年で一五〇周年をむかえました。大人の人たちが、花火やプロジェクトシンママッピングなど、すごいイベントをやってくてさいました。そこにも世代をこえたつながりを強く感じ

講評

大きな気球のデザインがとてもユニークで目立ちます。子どもたちが自分たちのまちの「いいところ」「自慢できるところ」を上げています。地域に愛着を持つことができるでしょう。地域の行事紹介はふんだんに写真を使う一方で、気球に乗った子どもたちは、写真ではなく似顔絵（自画像？）を使っているのもとても好感が持てます。

ました。今回の新聞づくりやイベントを通して、ぼくは、この北方町をますますほこりに思いました。



神山連区
神山仲よし子ども会



貴船連区
杵杵町3・4丁目子ども会



向山連区
どんぐり子ども会



大志連区
D☆Friends子ども会



神山連区
みなみやま子ども会



葉栗連区
笹野子ども会



葉栗連区
大毛子ども会



富士連区
富士見子ども会



西成連区
西大海道子ども会



西成連区 張淵、春明、西新田、
子どもの家ともいき、定水寺子ども会



西成連区
中一すみれ子ども会



丹陽町連区
多加木子ども会



丹陽町連区
稲荷子ども会



西成連区 柚木鳳、柚木町、
小赤見、さくら、明星子ども会



浅井町連区
尾関子ども会



浅井町連区
江森子ども会



丹陽町連区
五日市場子ども会



大和町連区
妙興寺東子ども会



大和町連区
上次子ども会



浅井町連区
長田子ども会



今伊勢町連区
新神戸子ども会



今伊勢町連区
東山之小路子ども会



大和町連区
荻安賀中子ども会



萩原町連区
河田方子ども会



萩原町連区
富田方子ども会



奥町連区 瀬古、丁田、
北町、辰巳町、新川崎子ども会



千秋町連区
町屋子ども会



千秋町連区
加納子ども会



千秋町連区
天摩子ども会



開明連区 高野島なかよし、北野府、
南野府、小原、新田、将監子ども会



大徳連区 うぐいす北、
うぐいす南、富田中町、北今子ども会



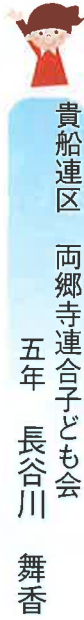
小信中島連区
上町・大蔵子ども会



木曽川町連区
日の丸子子ども会



木曽川町連区
西割田ブロック子ども会



私達は両郷寺連合子ども会です。一年生から六年生まで男女全員で27人です。

去年、一昨年までは色々な行事が中止になってしまいました。今年、今年の春の桃花祭では、新しい一年生から六年生といっしょにおししを持って、町内の家を一軒一軒まわっていきました。両郷町は、はんいが広いので二日

に分けて行われ、一日目は公民館の回りにある家をまわっていきました。二日目はじょうがん町の所をまわっていきました。たくさん移動して、足がつかれたのですが、みんなといっしょにいたのでみんなと力を合わせて、最後までいっしょに歩きました。

今年の夏祭りは久々のかいさいで、低学年の子達は、初めての夏祭りとなりました。夏祭りの内容はスーパーボールすくい、ヨーヨーつり、おかしのかみ取り、手持ち花火、かきごおりという内容となっており、私はおくれで参加したのですがおかしのかみをやり一つかみでどれだけ取れたかを友達と勝負をしてワクワクしました。次にくじ引きをし、かいてある番号の箱の景品とジュースをもらい、友達と見せ合いました。

私の友達の姉妹がかきごおりをたくさん食べて頭がキンッとしたと笑っていました。

日が暮れてからの花火をして月の光が花火をより照らしにぎやかです。くまふし花火をみんなで楽しみました。

秋の焼き芋会の日は天候が悪くて、中止かと思いましたが、友達と神社に行くと、大きな火柱が見えいっしゅん火事かと心配になりました。

芋を焼く準備ができるまで、公民館で、松ぼっくりに、色々なかざりをつけて、自分だけのミニクリスマスツリーを作ったり、どんぐりに穴をあけて、短く切った竹ぐしを刺して、どんぐりごまを作りましたが、こまをまわすのがとてもむずかしかったです。でも、男子には大人気で、どれくらい続くかを勝負をしていました。

芋を焼く準備ができたら、役員さんがアルミでまいた芋をみんなといっしょに火の中になげ入れました。

しばらくして焼き芋が、できると役員さんが二つずつ新聞紙にま



いてくれて、食べたらすごくおいしくて、とてもよかったです。雨でもみんなといっしょにつくった焼き芋と考えると、より一層美味しく感じました。

役員さん達のおかげで低学年の子達も安心して楽しんだと思います。また、新たな思いでをみんな、自分のアルバムにきざんだと思います。コロナウィルスのえいきょうで、やるはずだった行事が少なくなり、さみしい気もしますが、コロナがおさまってからみんな、また、おもしろい行事を楽しみたいと思いました。

北方町連区 曾根伸よし子ども会

六年 高取 栞

私達の曾根伸よし子ども会では、今まで新入生の歓迎会、七夕祭り、秋祭り、クリスマス会などの楽しい行事を一年を通して行ってきました。

しかしコロナの影響で、コロナ禍前に比べて、行事の規模を縮小せざるをえなくなりました。それでも保護者の方々が私達が安全に楽しめるよう考慮された行事を行って下さり、とても嬉しかったです。

私が毎年楽しみにしている、クリスマスのボウリング大会も、最初は少しあきらめていました。でもコロナの対策をとっていいし、規模も半日に短縮してまで行なって下さいました。

保護者の方々が私達の成長と笑顔のために尽力して下さいていることは本当に有難い限りです。

一日でも早く、コロナが収束し、元の行事や生活ができることを願っています。

私達六年生は、卒業まであと数ヶ月しかありません。なので、その数ヶ月を今までよりもっと楽しみたいです。保護者の方々が毎年工夫して行なって下さった行事が、これからも続いてほしいです。

行っ行事は少なくても、子ども会の仲間と楽しい思い出をたくさん作れたらいいと思います。6年間私達を見守って下さった方々への感謝を忘れず、中学校でもがんばっていききたいです。

一宮市ジュニアリーダークラブ



▲ いつでも熱烈募集中！

一宮市ジュニアリーダークラブは現在、小学五年生から高校三年生までのジュニアリーダーと、大学生以上のシニアリーダーで活動しています。私たちは、各子ども会で行われるおたのしみ会などの行事や、一宮市民会館で行われる行事などに参加し、レクリエーションやバールンをして盛り上げています。また、現在はコロナの影響で中止になってしまふことがほとんどですが、全国のジュニアリーダーが集まって、交流会をしたり、研修会をしたりと楽しく活動をしています。

今回の壁新聞は、毎月2回行われる定例会で作成しました。みんなでデザインや構成を考え、協力して完成させることができました。実際に作成したジュニアリーダーからは、「壁新聞の構成を考えるのが楽しかった、またやりたい」「新メンバーも交えて協力して作成できたので、コミュニケーションもとれてすごく楽しかった」という声がありました。

ジュニアリーダーは、みんなで協力することの大切さを学んだり、大勢の人の前でのびのびと楽しんで話せるようになったりと、活動自体がとても良い経験になります。気になった人はぜひ一宮市ジュニアリーダーへ！！

子ども会指導者代表研修会

貴船連区 スペクトル一宮貴船子ども会

指導者 田村 明子

市内の子ども会指導者が集まり、「コロナ禍で一年間を振り返り指導者として感じたこと」について意見交換をしました。

皆さん共通していたのが、コロナ感染への危惧で行事を思うようにできなかったということでした。時間を短縮したり、内容を変更するなど工夫して開催したところ、やむを得ず中止にしたところと様々でした。私もずっと葛藤しながら活動してきました。正解のない中で子どもたちの笑顔のため何ができるかを考える良い機会になりました。

また、役員決めの難しさにも皆さん頭を悩ませていました。行事や会議が多く負担が大きいため、役員になる前に脱退してしまうのです。

子ども会には子どもが主役ですが、運営する親が負担を感じないよう、リモート会議など様々な世帯が参加しやすい仕組み作りが大切だと思いました。子ども会活動は、地域との繋がりができるきっかけになるので、コロナ禍を経験した今、時代の変化に合わせて行事に変えていくのにも必要だと感じました。



▲ 意見交換 真剣な討議

今伊勢町連区 西宮後子ども会

指導者 今村 さゆり

今回、指導者代表研修会に参加し、市内の子ども会の指導者の方と意見交換を行いました。一年を振り返って良かったことや大変だったことの話を聞く中で感じたことがありました。

それは、子ども会によって抱えている問題は異なるものの、みなさんそれぞれに思いがあり、色々な工夫や努力をされているということです。今年度はコロナ禍三年目に入り、徐々に活動が再開されました。しかし、開催しても制限がある中での開催や、感染拡大のため中止せざるを得ない事態になるなど、どの子ども会も苦心されたようです。そんな中でも「子どもたちのために」という思いは同じであったように感じました。役員としての苦勞や負担はありますが、子どもたちの笑顔や楽しんでる様子を見て、指導者の皆さんも安心されたのではないのでしょうか。

子どもたちが楽しめるように、知恵を出し合い、地域で子どもを育てていくことが大切で、それこそが子ども会の根本的な部分だと改めて感じる事ができました。

表彰

全国子ども会連合会表彰

奥町連区 春日井 修仁

広報委員

一年間たくさんの方の原稿をお寄せいただきありがとうございます。

河辺 三代・大窪 文子・奥田 純子
赤野 ルミ子・加藤 貴美